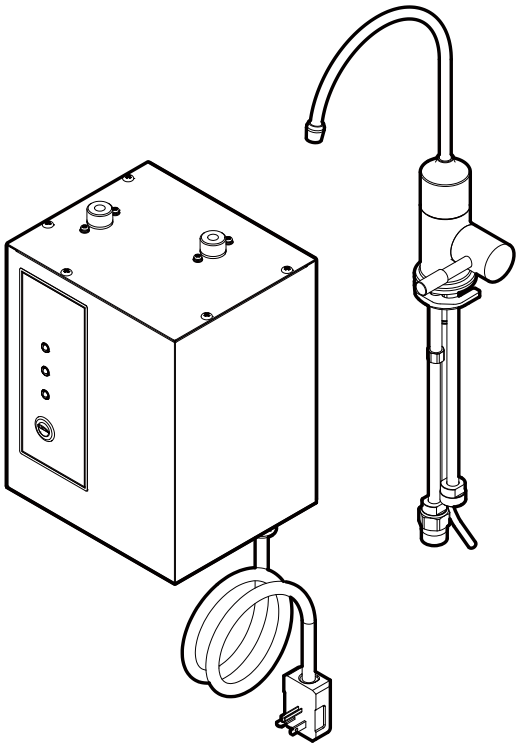
工事要領・取扱説明書

製品名：熱湯用水栓付小型電気給湯器（元止式）

型　式：ES-3D（1）



このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本書を事前によくお読みになり、理解した上で設置、ご使用ください。
設置工事（試運転）後は、必ず本書をご使用になる方にお渡しください。
本書は、いつでもご覧になれるよう所定の場所に保管してください。

※この工事要領・取扱説明書に記載されている事項を守らずに発生した事故について、弊社は一切責任を負いません。

株式会社 日本イトミック

もくじ

共通項目 ……………………………… 2

安全上のご注意 ……………………………… 3

ES-3D（1）について ……………………………… 5
各部名称および寸法図 ……………………………… 5
仕様 ……………………………… 6

熱湯用水栓について ……………………………… 7

工事要領 ……………………………… 8

施工前にご確認ください ……………………………… 9
1.部品の確認 ……………………………… 9
2.設置場所の確認 ……………………………… 10

施工する ……………………………… 11
1.設置工事 ……………………………… 11
2.配管工事 ……………………………… 13
3.電気工事 ……………………………… 15
4.施工後の確認 ……………………………… 15

試運転を行う ……………………………… 16
1.給湯器に給水する ……………………………… 17
2.試運転を行う ……………………………… 18
3.試運転後の確認 ……………………………… 19

取扱説明 ……………………………… 20

使用方法 ……………………………… 21
1.使用前の準備と確認 ……………………………… 21
2.運転する ……………………………… 21
3.出湯する ……………………………… 22

お手入れの方法 ……………………………… 23
保守点検項目と実施の目安 ……………………………… 23
長期間使用しないときは ……………………………… 23
短期間使用しないときは ……………………………… 25
凍結防止対策 ……………………………… 25
給湯器のお手入れ ……………………………… 25
熱湯用水栓のお手入れ ……………………………… 25

こんなときは ……………………………… 26
故障かな？と思ったら ……………………………… 26
前面・右側面カバーの取り外し方法 ……………………………… 27
リセットの方法 ……………………………… 28

アフターサービス ……………………………… 28
消耗品について ……………………………… 28
補修用性能部品について ……………………………… 28
メンテナンス契約について ……………………………… 28
修理をご依頼の際には ……………………………… 28

共通項目

安全上のご注意

本書にはお客様への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくためにお守りいただく事項を記載しています。設置の前に、必ず本書をお読みになり、内容をよく理解された上で設置してください。製品引き渡しの際は必ず本書をご使用になられる方にお渡しください。

警告表示の意味

本書では、取り扱いを誤った場合などの危険の程度を、次の2つのレベルに分類しています。

⚠警告 この表示の欄は、『死亡または重傷などを負う可能性が想定される』内容です。

⚠注意 この表示の欄は、『傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される』内容です。

⃠の記号は、してはいけない行為（禁止行為）を示しています。
⃠の中や近くに、具体的な禁止内容が描かれています。
（左図の場合は『分解禁止』という意味です。）

●の記号は、しなければならない行為（強制行為）を示しています。
●の中に、具体的な指示内容が描かれています。
（左図の場合は『電源プラグをコンセントから抜くこと』という指示です。）

重要事項：必ずお守りください

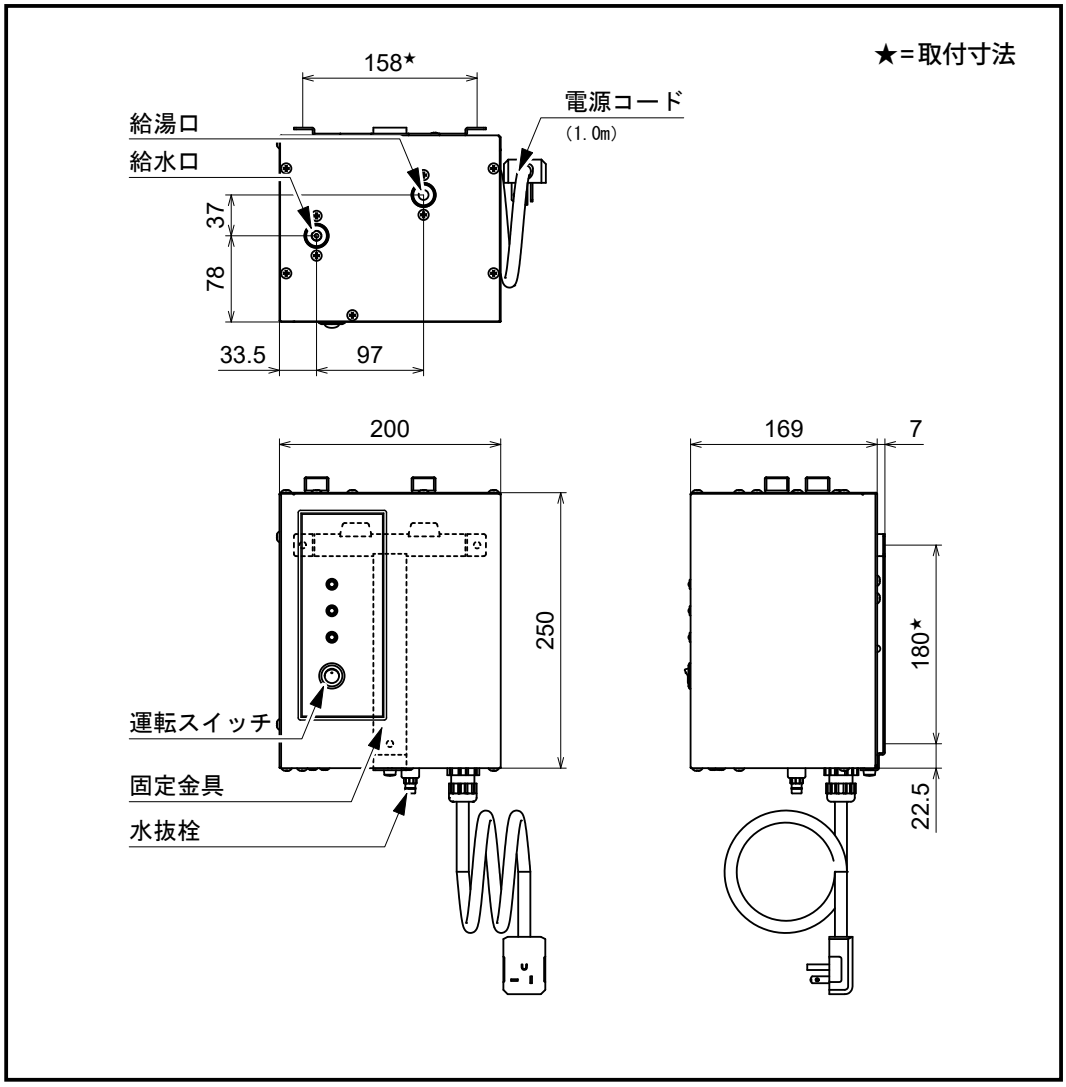
⚠警告	
⏚	**アース（D種接地）工事を確認してください。** アース工事がされないと故障や漏電発生時に感電するおそれがあります。
❗	**定格電圧でお使いください。一時変動がある場合には± 10％以内の環境でお使いください。** 故障、火災の原因となります。
	必ず電源一次側に漏電ブレーカを取り付け、動作を確認してください。 万一の故障等による漏電発生時に感電、火災のおそれがあります。
⃠	**絶対に改造はしないでください。** 火災、感電、やけど、故障やケガの原因となります。
⃠	**屋外に設置しないでください。** 感電や故障の原因となります。
	設置時、リセット操作時、メンテナンス作業時以外は前面・右側面カバーを開けないでください。 感電、やけどのおそれがあります。
	本体近くにガス類や引火物を近づけたり保管しないでください。 発火のおそれがあります。
	水が掛かったり、表面に結露を生じるような湿気の多い場所、特に浴室やシャワールームには設置しないでください。 腐食や感電、故障の原因になります。
	水・油・洗剤等が掛かる位置に機器本体および電源プラグ用のコンセント（電源プラグ付機種の場合）を設けないでください。 腐食や感電、故障の原因になります。
	タンク内の湯温が高い場合には絶対に排水しないでください。 配管が破損して、やけどしたり漏水するおそれがあります。
⃠	**給湯中とその直後は高温になっていますので、配管部分、水栓金具に直接触れないでください。** やけどのおそれがあります。

⚠注意	
⃠	**機器本体および配管に乗ったり体重を掛けたり物を載せたりしないでください。** 落ちてケガをしたり、漏水、故障の原因となります。
	機器本体に強い力や衝撃を与えないでください。 故障や漏水の原因となります。
	水道水（上水）以外は使用しないでください。 井戸水などを使用すると腐食などにより漏水、故障、発火、漏電の原因となります。
	熱湯用水栓の出湯口に浄水器など抵抗となるものを取り付けないでください。 漏水、故障の原因となります。
	長期間のご使用によってタンク内に水アカがたまったり、配管材料の劣化などによって水質が変わることがありますので、固形物や変色、にごり、異臭があった場合は飲用にしないでください。 健康を害するおそれがあります。
❗	**満水質量に十分耐えられる強度を持った壁面に必ず垂直に設置してください。** 落下の原因となります。
	給湯・給水接続配管はステンレスもしくは銅製の材質を使用してください。 漏水の原因となります。
	配管に使用するパッキンはノンアスベストパッキンを使用してください。 漏水の原因となります。
	排水管は耐熱性のある材質のものを使用してください。 漏水の原因となります。
	BCH（使用時のみ）および排水管に閉塞や異常がないことを確認してください。 故障や漏水の原因となります。
	機器本体へ配管接続する前に配管内のゴミ（切削粉、砂、シールテープ等）を除去するため、止水栓を開きフラッシングしてください。 故障や漏水の原因となります。
	満水にしてから通電してください。 故障の原因となります。
	床面に防水、排水処理を施してください。 漏水が起きた場合、大きな被害につながるおそれがあります。
	規定の給水圧力（静止圧）にてご使用ください。 誤動作、故障の原因となります。
	本体設置場所周辺の温度が氷点下になる、もしくは予想される場所では、各配管に対しヒーターや保温材を巻く等の凍結予防処置を施してください 凍結により破損、漏水のおそれがあります。
	長期間使用しない場合はタンクの水を抜いてください。 水質が悪化するおそれがあります。
	電源プラグを抜くときは、コードを持たずにプラグ本体を持って抜いてください。 感電、発火のおそれがあります。

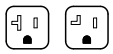
ES-3D(1)について

本製品は約 95℃に沸かし上げたお湯を出湯する元止式の壁掛型熱湯用水栓付小型電気給湯器です。

各部名称および寸法図



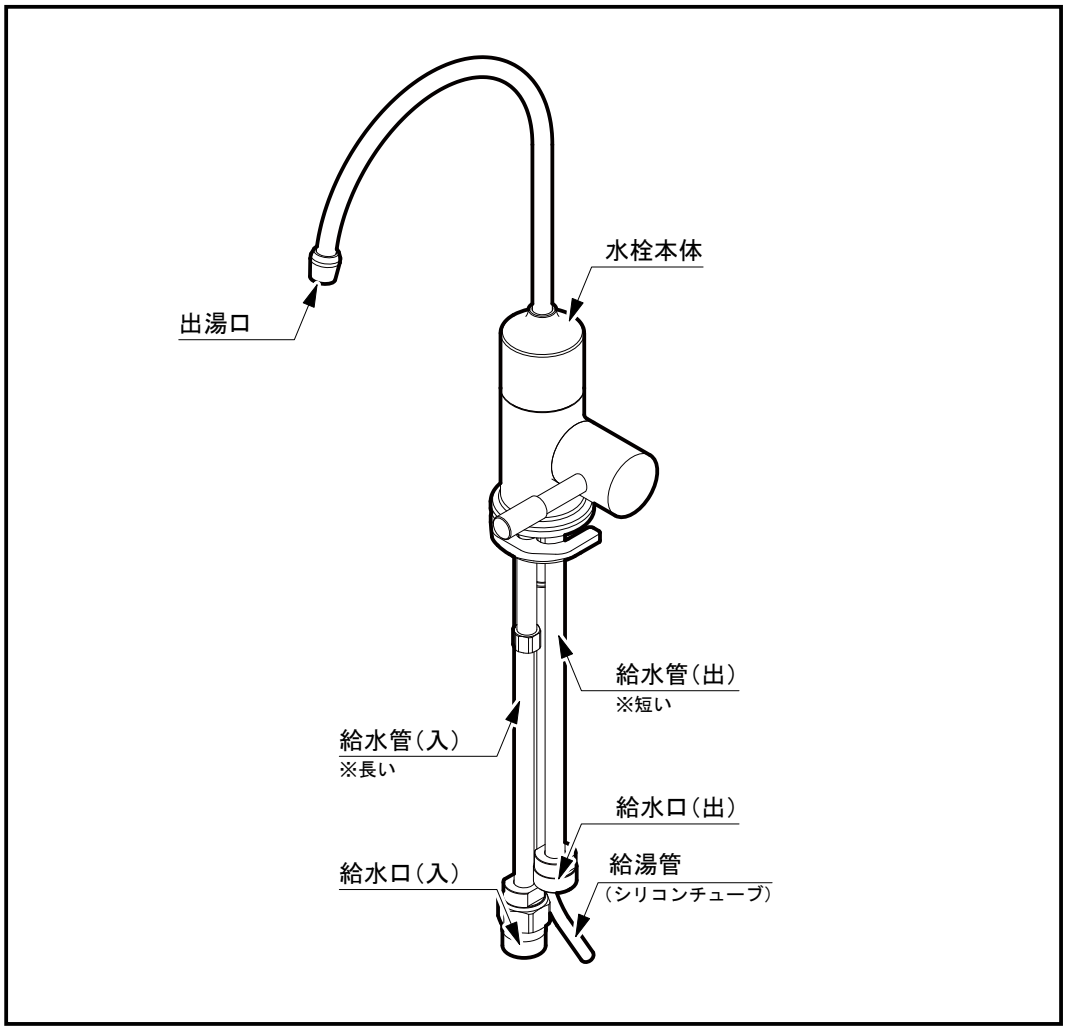
仕様

型番		ES-3D(1)
貯湯量		約 3L
定格	電圧	単相 100V
	周波数	50/60Hz
	消費電力	1.4kW
設定温度(沸かし上げ温度)		約 95℃
出湯温度		約 92℃※
外形寸法 D × W × H		169mm × 200mm × 250mm
満水質量		約 7.5kg
使用条件	設置環境温度	0 ～ 40℃(凍結しないこと)
	一次側使用水温	40℃以下(凍結しないこと)
	使用水圧(静止時)	0.1~0.5MPa
	設置場所	屋内
主要部品	ヒーター	シーズヒーター
	電源コード	1m
	電源プラグ	差込形 / 接地 2P 125V/20A
対応コンセント (パナソニック品番)		WN19213 WK3821 
安全装置		温度センサー異常検出、空焚き防止、過昇温検出
接続口径	給水口	G1/2(おねじ)
	給湯口	G1/2(おねじ)
	水抜栓	適合ホース内径 9mm

※熱湯用水栓の出湯口からの出湯温度の目安です。

ES-3D(1)について

熱湯用水栓について



型式		熱湯用水栓 右ハンドルタイプ
寸法		幅 90mm ×奥行 190mm ×高さ306mm
重量		約 2kg
取付穴径		許容範囲：φ38 ～φ42mm
給湯管(シリコンチューブ)長		約 500mm
接続口径	給水口(入)	G1/2(オネジ)
	給水口(出)	G1/2(オネジ)
	給湯管(シリコンチューブ)	チューブ内径 5mm

工事要領

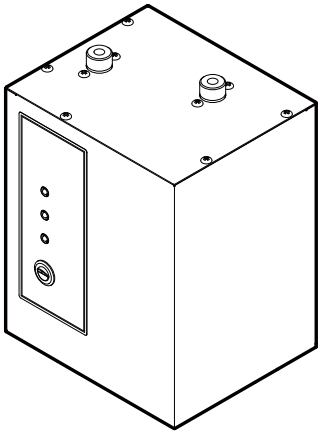
正しく取り付けるため、必ずこの手順に沿って施工してください。

施工前にご確認ください

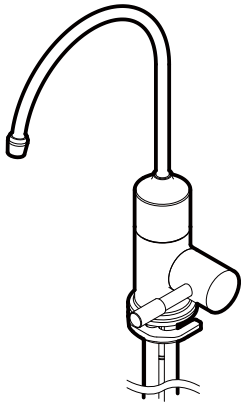
1. 部品の確認

【製品に同梱されています】

本体

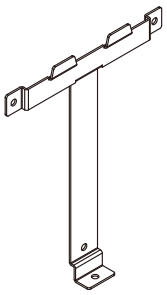


熱湯用水栓

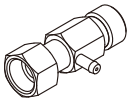


付属品

工事要領・取扱説明書× 1
（この冊子です。当冊子は工事終了後、ご使用になられる方へお渡しください。）



固定金具



排水チーズ

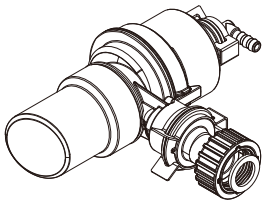
袋ナット付エルボ

ホースバンド

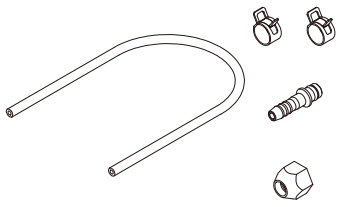
ホースアダプタ

本体固定ねじ

パッキン× 3



BCH-3K
（高温排水対応仕様）



逃しホースセット
・逃しホース（L=700）× 1
・ホースバンド× 2
・ホースアダプタ× 1 ┐
・M14袋ナット× 1 ┘ ※今回の施工では使用しません

【お客様にてご手配ください】

お客様手配品（→ P.14『標準配管図』参照）

①漏電ブレーカ ・・・・・・・ 万一の故障や漏電した際の事故を防止します。(30mA、0.1秒)
②プラスチックアンカー ・・・・ 給湯器を取り付ける際に必要です。(3本)
③木ねじ ・・・・・・・・・・・ 給湯器を取り付ける際に必要です。(3本)
④ステンレスフレキ管・・・・・ 配管するために必要です。
⑤止水栓 ・・・・・・・・・・・ 排水やメンテナンス時に給水を止めるため必要です。
⑥パッキン・シールテープ ・・ 配管接続部分から漏水させないために必要です。パッキンは必ずノンアスベストパッキンをご使用ください。ゴム製のパッキンを使用すると、漏水のおそれがあります。

2. 設置場所の確認

チェックリスト

項目	チェック内容	チェック
設置環境	凍結しない場所ですか？ 凍結の可能性がある場所では、各配管に対しヒーターや保温材を巻くなどの凍結予防処置を施してください。	☐
メンテナンススペース	メンテナンスのために本体を取り外せるスペースは確保されていますか？ メンテナンススペースが取られていないと、修理や点検の際に製品を取り外すことができません。	☐
取付壁面	垂直な壁面ですか？ 垂直でない場合はお取り付けいただけません。	☐
	満水質量に耐えられる壁面ですか？ 強度が不十分な場合は補強を行うなどの対策が必要です。	☐
給水圧力	給水圧力は0.1 ～ 0.5MPaの範囲内ですか？ 給湯器が正しく動作しませんので、必ず上記の範囲の給水圧力があることを確認してください。	☐
電圧	定格電圧の ± 10％以内ですか？ 電圧が範囲内に収まっていないと、性能を十分に発揮できない場合や、故障・火災の原因にもなりますので、一時変動がある場合にも定格電圧の± 10％以内の電圧であることを確認してください。	☐

ES-3D(1)の離隔距離

本製品は「消防法設置基準」に基づく試験基準に適合しております。建築物の可燃物等からの離隔距離は表に掲げる値以上の距離を保ってください。

※**必ずメンテナンススペースを確保してください。メンテナンススペースが取られていないと、修理や点検の際に製品を取り外すことが出来ません。**

消防法 基準適合 組込形	
場所	離隔距離（cm）
上方	0
左方	0
右方	0
前方	0
後方	0
下方	0

施工する

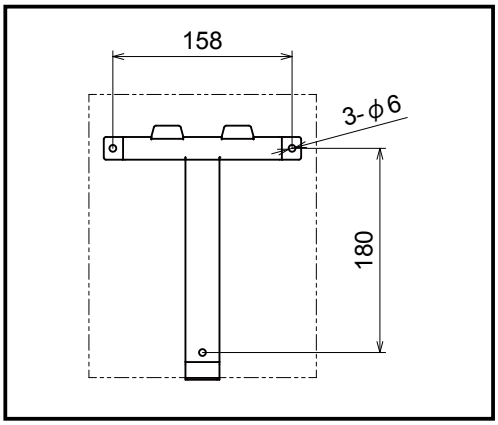
1. 設置工事

電気給湯器の設置

①給湯器を取り付ける位置を決定し、取付木ねじ位置に印をつけます。

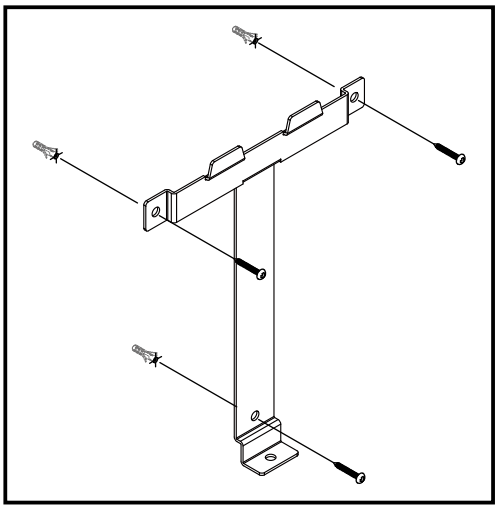
②印をつけた位置3ケ所に下穴を開け、プラスチックアンカー※（お客様手配品）を打ち込みます。

※推奨プラスチックアンカー
…フォーエース 4A-628K（日本ドライブイット製）

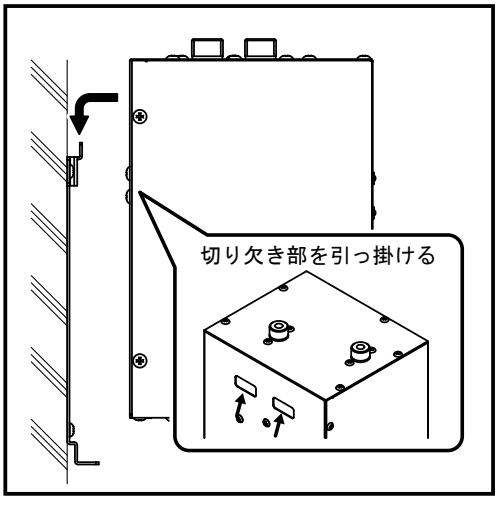


③ 3ケ所に打ち込んだプラスチックアンカーに木ねじ※（お客様手配品）で固定金具を取り付けます。

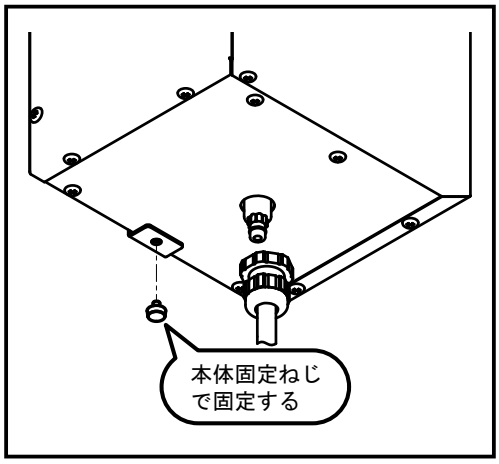
※推奨木ねじサイズ…φ3.8 × 32



④給湯器背面の切り欠き部に固定金具を挿しこみ、給湯器を引っ掛けます。



⑤本体固定ねじ(付属品)で固定します。



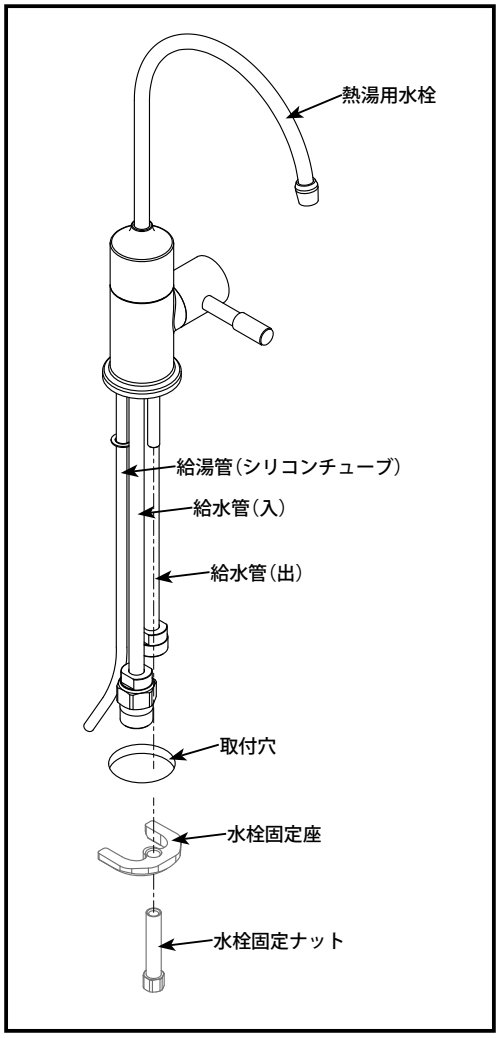
熱湯用水栓の設置

①熱湯用水栓の設置場所に取付穴を開けてください。(穴径許容範囲：φ38 ～φ42mm、取付部厚さ：4 ～ 35mm)

②取付穴に給水管 (入／出)、給湯管 (シリコンチューブ)を通します。

③水栓固定座の切り欠き部分に給水管 (入／出)、給湯管(シリコンチューブ)を通し、ソケットレンチ等を使用し水栓固定ナットを締め込みます。

給湯管 (シリコンチューブ) を給水管 (入／出) の間に挟んでつぶしたり、ぶつけて切らないように注意してください。
漏水の原因となります。



2.配管工事

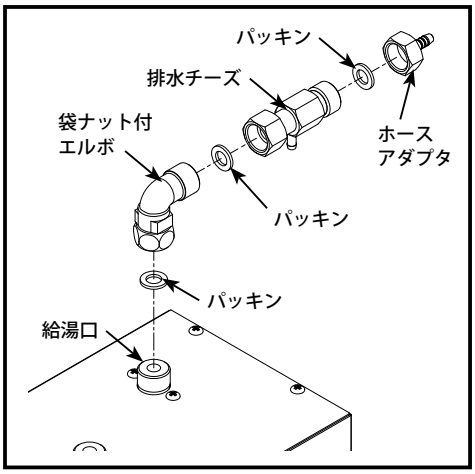
ワンポイント P

- 袋ナットやユニオンを使用して 、メンテナンスや修理の際に取り外せるようにしてください。また､配管接続部は漏水防止のためパッキンまたはシールテープを使用してください。
- 本体設置場所周辺の温度が氷点下になる､もしくは予想される場所では､各配管に対しヒーターや保温材を巻くなどの凍結予防措置を施してください。
- 排水管は耐熱性のある材質のものを使用してください。

①給水一次側にお客様手配品の止水栓を取り付けてください。

②給水接続口についているキャップを取り外して給水配管を行ってください。

③給湯接続口についているキャップを取り外して付属品の配管部品を右図のように取り付けてください。

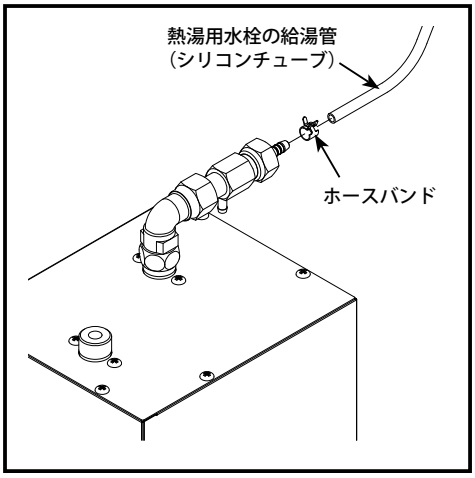


④熱湯用水栓の給湯管 (シリコンチューブ)にホースバンドを通し、ホースアダプタに挿し込んでください。

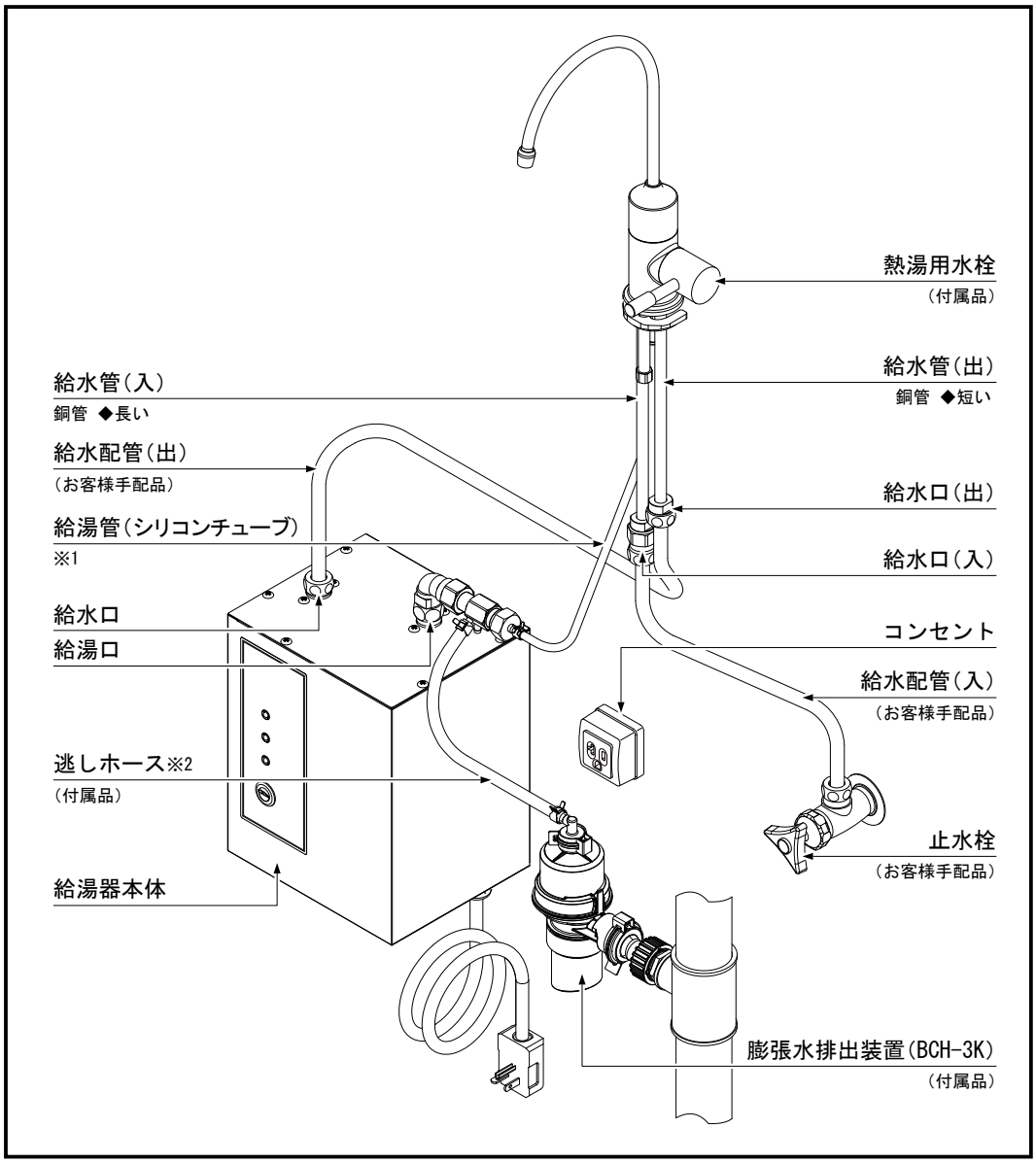
※給湯管は熱湯用水栓から給湯器に向かって下り勾配になるように施工してください。
給湯管が長い場合には切断できますが、給湯管が突っ張ったり折れたりしないように注意してください。
また､給湯管を無理に引っ張らないでください。

※給湯管はホースアダプタの根本まで充分に挿し込んでください。不十分な場合、漏水のおそれがあります。

⑤ホースバンドをペンチ等を用いて広げ、給湯管とホースアダプタを挟み込んで固定してください。



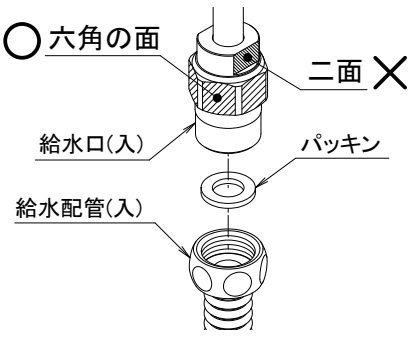
標準配管図



※1：給湯管（シリコンチューブ）は熱湯用水栓から給湯器に向かって下り勾配になるように施工してください。また給湯管が突っ張ったり折れたりしないように注意してください。
※2：逃しホースは排水チーズからBCH-3Kに向かって下り勾配になるように施工してください。

ワンポイント P

給水配管（入）を接続する際は、必ず給水口（入）の六角の面を工具で押さえながら締め付けてください。
二面部を押さえて給水配管（入）を締め付けると、故障の原因となり漏水するおそれがありますので、使用しないでください。



3. 電気工事

①電源一次側にお客様手配品の漏電ブレーカを取り付け、D種接地工事を行ってください。

4. 施工後の確認

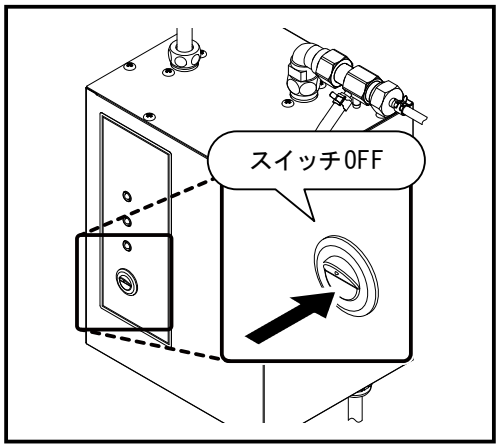
チェックリスト

項　目	チェック内容	チェック
設置工事	給湯器にがたつきはありませんか？	☐
配管工事	給水管の接続部分にゆるみはありませんか？	☐
	給湯管（シリコンチューブ）は突っ張ったり折れていませんか？	☐
	給湯管（シリコンチューブ）と逃しホースは下り勾配になっていますか？	☐
	BCH（使用時のみ）や排水管に閉塞や異常はありませんか？	☐
電気工事	漏電ブレーカは正しく作動しますか？	☐
	D種接地工事は正しく行われていますか？	☐

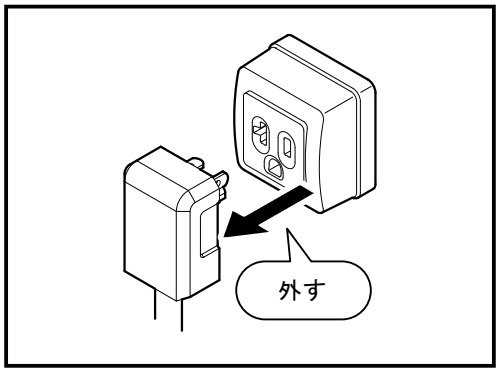
試運転を行う

1.給湯器に給水する

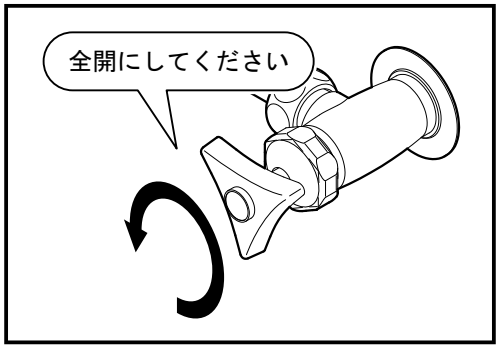
①運転スイッチがOFFになっていることを確認してください。



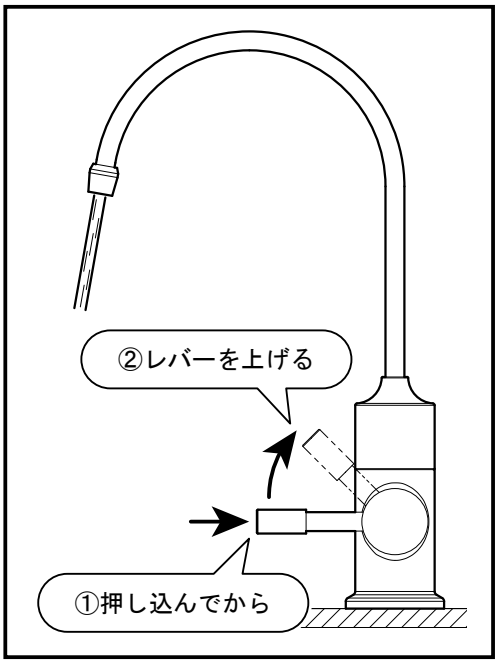
②電源プラグがコンセントから外れていることを確認してください。
外れていない場合は、電源プラグをコンセントから外してください。



③止水栓を全開にしてください。

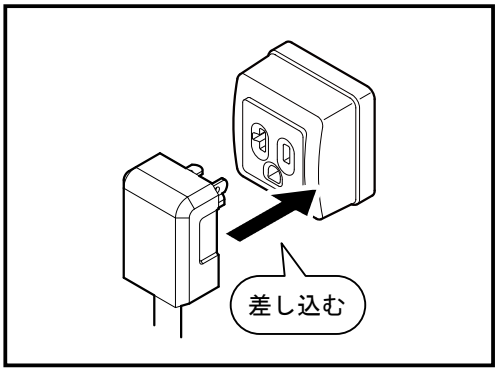


④熱湯用水栓のレバーを押し込んでから上へ回し、給水を開始してください。
※給湯器のタンクが満水になって出湯口から水が出始めるまで1分から1分半かかります。
※水の出はじめは空気を含んでいますので、空気が出切って水の量が安定するのを確認してから、レバーを戻してください。

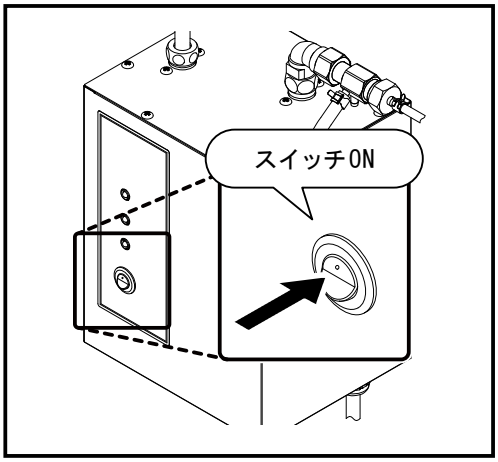


2. 試運転を行う

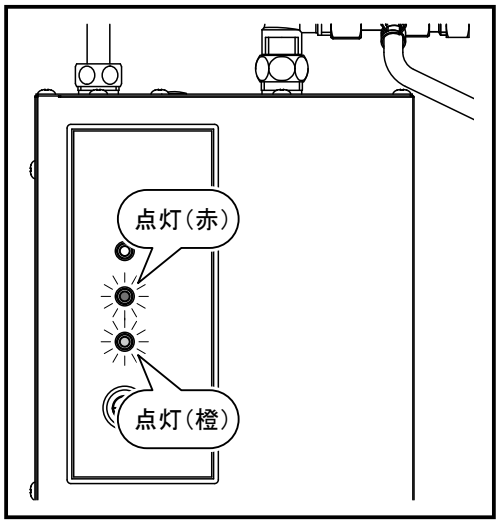
①電源プラグをコンセントに差し込んでください。



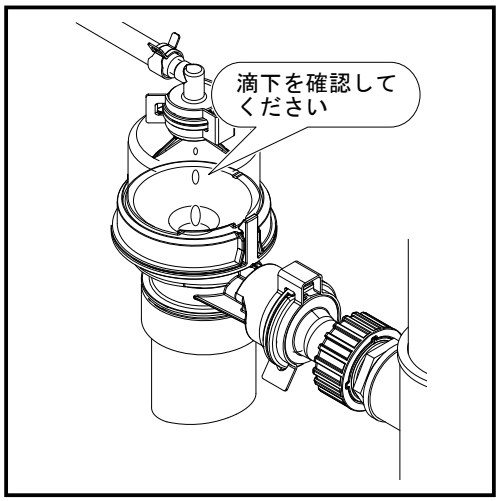
②給湯器の運転スイッチをONにしてください。



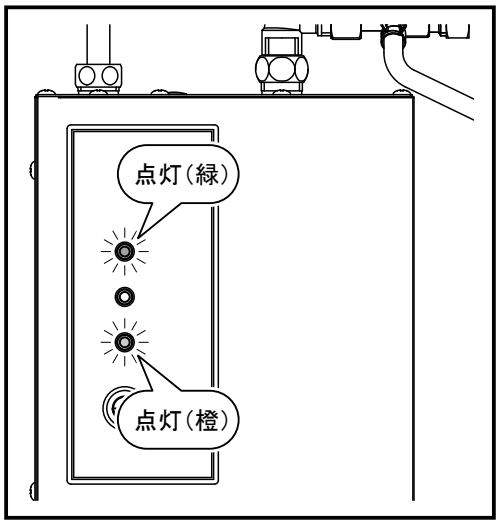
③安全水位ランプ(橙)の点灯を確認してください。沸かし上げを開始すると湯沸中ランプ(赤)が点灯します。



④しばらくした後(沸かし上げ中)にBCHに膨張水が排水(滴下)されていることを確認してください。



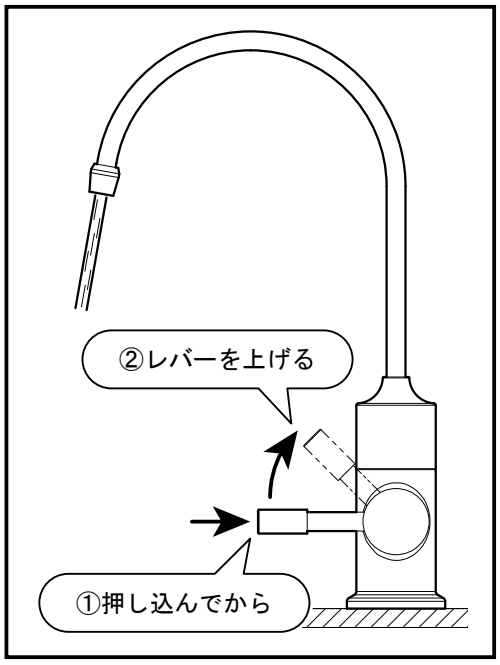
⑤沸かし上げが終了すると適温ランプ(緑)が点灯します。



試運転を行う

⑥熱湯用水栓から出湯し、お湯が出ることを確認してください。

※運転スイッチをONにしてから沸かし上がるまでの時間は下記『沸き上がり時間の目安』を参照してください。



沸き上がり時間の目安

定格電圧	貯湯量(ﾘｯﾄﾙ)	標準ヒーター容量(kW)	沸き上がり時間		
			給水温		
			5℃	15℃	25℃
単相 100V	約 3	1.4	12分	11分	10分

3. 試運転後の確認

チェックリスト

項　目	チェック内容	チェック
漏　水	各配管、継手に漏水はないですか？	□
給　湯	熱湯用水栓を開くとお湯が出ますか？	□

取扱説明

正しく安全にお使いいただくため、必ずお読みください。

使用方法

1.使用前の準備と確認

ご使用の前に次の事をご確認ください。

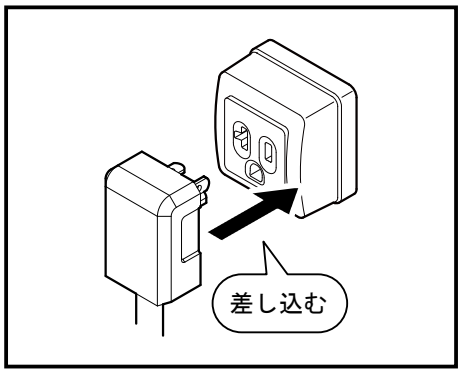
チェックリスト

項　目	チェック内容	チェック
本体まわり	近くにガス類や引火物がないですか？	☐
	本体の上には物などを載せていませんか？	☐

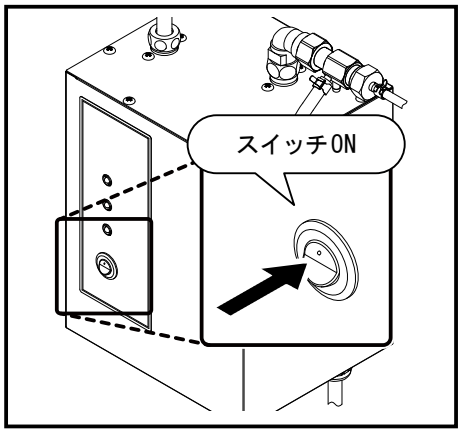
2.運転する

① P.16『給湯器に給水する』を参照し、給湯器に給水してください。

②電源プラグをコンセントに差し込んでください。

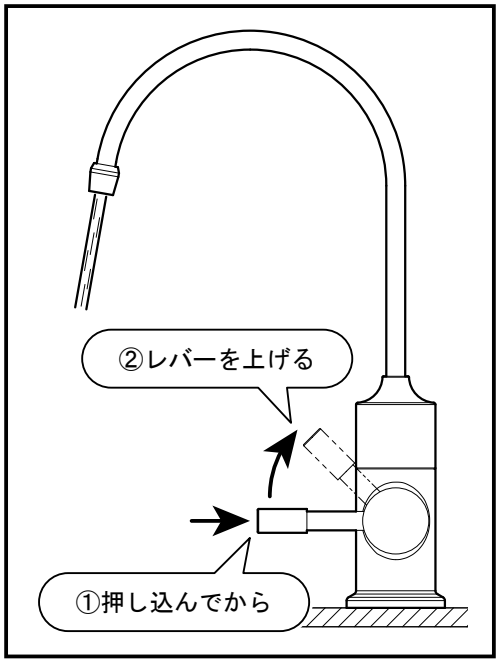


③電気給湯器正面にある運転スイッチをONにしてください。



3. 出湯する

熱湯用水栓のレバーを押し込んでから上へ回してください。



お手入れの方法

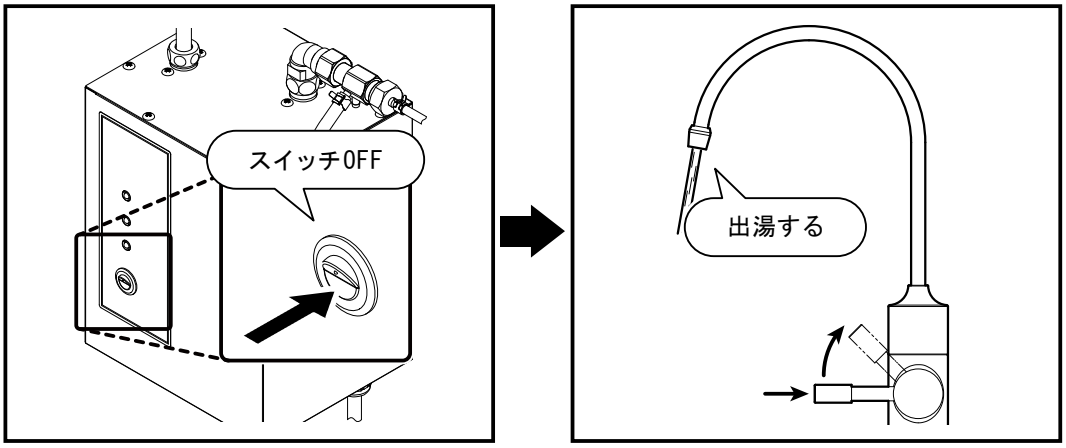
保守点検項目と実施の目安

点検項目	点検内容	点検の目安
コードおよびプラグの点検	コードが熱を持っていないこと、損傷および劣化していないこと、プラグの締め付け部にゆるみなどの異常がないことを確認してください。トラッキング現象による火災防止のために一次側ブレーカをOFFにし、コンセント周囲やプラグを乾いた布等で清掃してください。	1回／月
漏水全般についての点検	本体および各配管接続部から漏水のないことを確認してください。	1回／日
タンク内部の清掃	熱湯用水栓から出湯して、タンク内の水を強制的に入れ替えてください。	1回／年

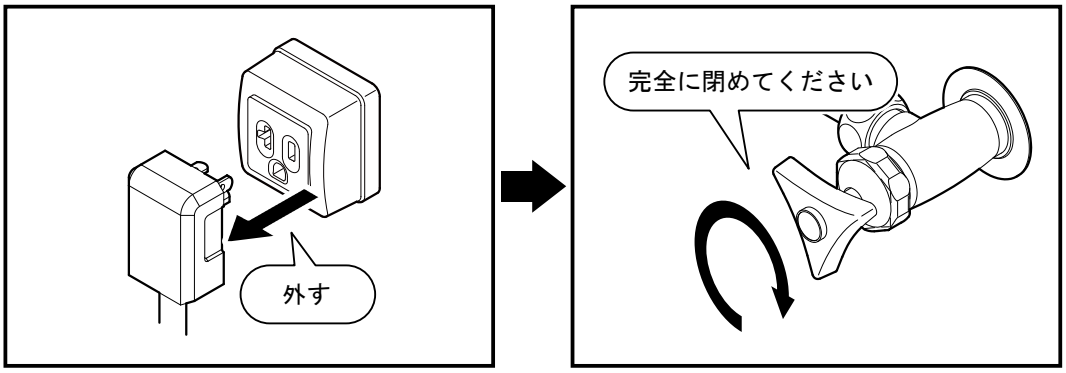
長期間使用しないときは

長期間、給湯器および熱湯用水栓をご使用にならない場合には水質劣化を防ぐため、下記の手順に沿ってタンク内のお湯を抜いてください。

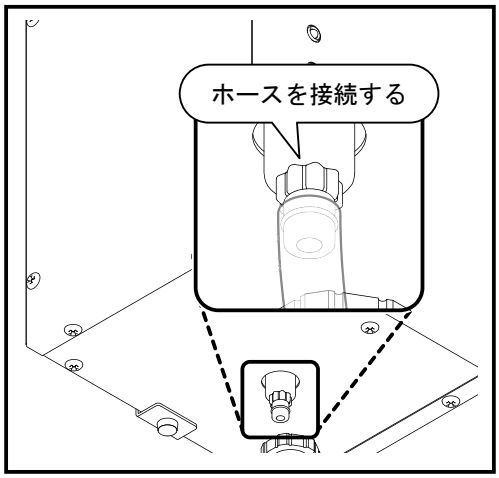
①運転スイッチをOFFにして、水になるまで熱湯用水栓から出湯します。



②熱湯用水栓からのお湯が水になったら、電源プラグをコンセントから外し、止水栓を完全に閉めます。

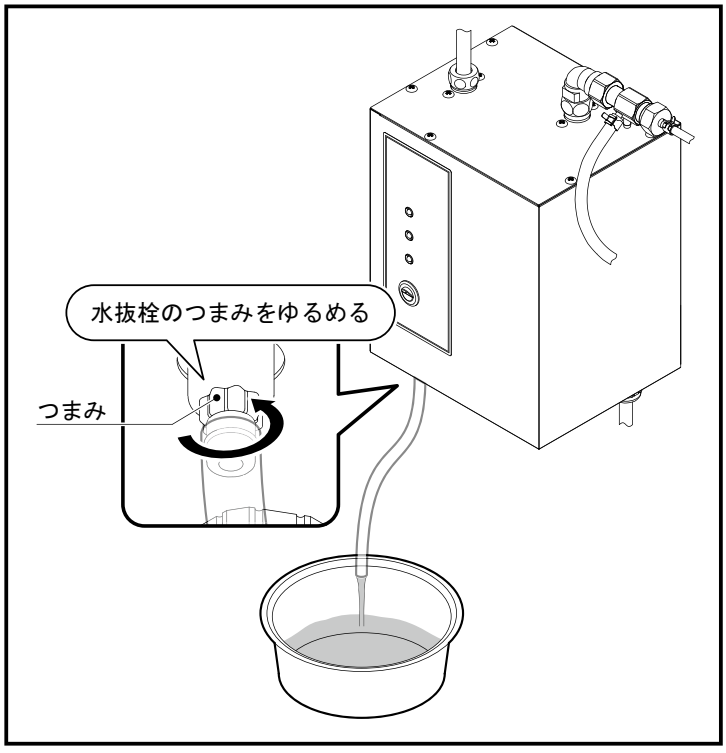


③本体下部の水抜口にホース（お客様手配品：適合ホース内径 9mm）を奥までしっかりと差し込みます。



④水抜栓のつまみをゆるめると、排水が開始されます。（排水の際は容器から水があふれないようご注意ください。）
※水抜栓は回しすぎると外れてしまいますのでご注意ください。

⑤排水が終了したら水抜栓を閉めてください。



※上記の方法で水が抜けにくい場合は、アフターサービス窓口までお問い合わせください。

短期間使用しないときは

短期間給湯器を使用しない場合には、状況に応じてそれぞれ下記の対処を行ってください。

●ご使用を停止する場合
・運転スイッチをOFFにしてください。

●停電の場合
・給湯器の操作、止水栓の開閉など、機器や配管に対処する必要はありません。
停電からの復旧をお待ちください。

●断水の場合
・止水栓を閉め、運転スイッチをOFFにして、断水が終了するまでお待ちください。

凍結防止対策

凍結のおそれがある場合は次のどちらかの方法にて機器の凍結予防措置を行ってください。

＜機器の運転を継続しつつ凍結を予防する場合＞

機内温度を氷点下にしないために、機器の通電を継続し沸かし上げを続けてください。また、凍結の可能性がある場所では各配管に対し、ヒーターや保温材を巻く等の凍結予防処置を施してください。

＜機器の運転を停止し凍結を予防する場合＞

① P.23『長期間使用しないときは』の手順に従い、給湯器内の水を抜きます。
※排水が完了した後も水栓、水抜栓は開けたままにしてください。

②給水口の給水配管を外す、もしくは給水口手前（一次側配管）の水抜き栓を開けてください。
※水抜き後、給水口の給水配管を外した場合は外したままにし、水抜き栓を開けた場合は閉めずに開放しておいてください。
※水抜きが完全でない場合には給湯器内部に水が残り、凍結により製品が破損してしまう可能性があります。

③再使用時には水抜栓を閉めてください。

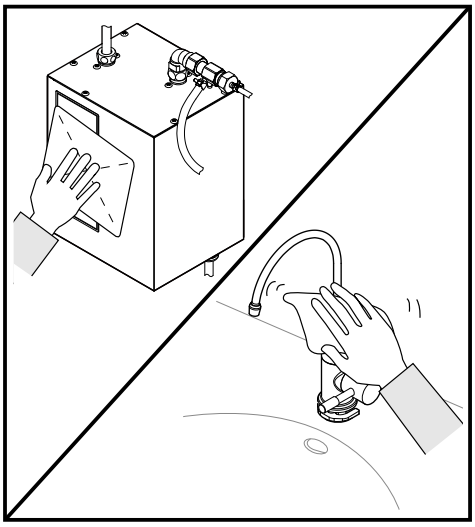
④ P.16『1. 給湯器に給水する』～『2. 試運転を行う』の手順に従ってください。
※機器内のタンクを満水にしてから機器の運転をしてください。故障の原因となります。

給湯器のお手入れ

水に浸して固く絞った布で、汚れがひどいときは適量に薄めた中性洗剤に浸して固く絞った布で拭いてください。薬品やクレンザーなどは使用しないでください。

熱湯用水栓のお手入れ

水に浸して固く絞った布で、汚れがひどいときは適量に薄めた中性洗剤に浸して固く絞った布で拭いてください。薬品やクレンザーなどは使用しないでください。



こんなときは

故障かな？と思ったら

給湯器が正しく運転しない場合や不調な際の修理ご依頼の前にご確認ください。
ここに記載されている対処を行っても症状が改善されない場合は、故障状況シートにご記載の上、アフターサービス窓口までご連絡ください。

状　況	ご確認ください	対処方法
湯が沸かない 湯にならない	一次側のブレーカが OFFになっていませんか？	漏電ブレーカをONにしてください。
	プラグは確実にコンセントに 差し込んでありますか？	確実に差し込んである場合でも、結線部が断線していることもありますので、点検してください。
	運転スイッチが OFFになっていませんか？	運転スイッチがOFFの場合はONにしてください。
	過昇温検出装置が 作動していませんか？	本機には「過昇温検出」（トラブル時などに発生するオーバーヒート防止）装置が装備されています。復帰するには原因を取り除いたうえで、管理技術者の方にご依頼ください。（P.28『リセットの方法』参照）
	電圧が誤っていませんか？	100 Vの給湯器を200 Vで使用するとコントローラが破損します。
	ヒーターの故障では ありませんか？	ヒーターの導通を測ってください。
	安全水位ランプは 点灯していますか？	安全水位ランプが点灯していない場合は、給湯器内の水が不足しています。P.16『給湯器に給水する』を参照し、給湯器に給水してください。
	安全水位ランプのみが 点灯していませんか？	温度センサ故障の可能性があります。アフターサービス窓口までご連絡ください。
	停電ではありませんか？	復旧までお待ちください。P.27『停電後の対応について』もご確認ください。
湯温が低いまたは 沸き上がり時間が 長すぎる	湯を使用した直後では ありませんか？	瞬間式ではありませんので沸き上がるまで時間がかかります。
	給水温度が低くありませんか？	秋から冬にかけて水温が急激に下がります。従って沸き上がり時間もかかります。
湯量が少ない 湯も水も出ない	断水ではありませんか？	断水が終わるまでお待ちください。
	給水量が不足していませんか？	止水栓が閉じている場合は開けてください。
	止水栓が閉まっていませんか？	閉まっていたら開けてください。
熱湯用水栓の出湯口からポタポタと滴下している	排水チーズが つまっていませんか？	排水チーズにつまりがある場合には管理技術者の方に依頼し、清掃を行ってください。
熱湯用水栓の出湯口から湯気が出ている		ただちに使用を中止（運転スイッチをOFFに）して止水栓を閉め、電源プラグを抜いた後、アフターサービス窓口までご連絡ください。

こんなときは

状　況	ご確認ください	対処方法
湯が臭い 湯が汚れている	設置直後ではありませんか？	設置直後などは工事の際の切削油等が流入することがありますので、水をしばらく出し続けてください。
	長期間の休止後ではないですか？または断水直後ではないですか？	休止後は水の汚れや配管内の錆が出ることがあります。熱湯用水栓から水を出し続けてタンク内の水を入れ替えてください。
漏水している	本体からですか？	ただちに使用を中止（運転スイッチをOFFに）して止水栓を閉め、電源プラグを抜いた後、アフターサービス窓口までご連絡ください。
	配管接続部からですか？	各配管接続部を締め直してください。 膨張水の処理配管接続部も点検してください。
給湯器本体から音がする	沸し上げ中ですか？	沸し上げ中は湯温の上昇に伴って湯沸器本体から沸し上げ音がする場合がありますが、故障ではありません。
給水時、給湯器本体や配管が振動音を発する	給水管に30cm以上フレキ管を使用しているか、配管支持がされていないのではありませんか？	配管を固定していないと水圧の変動「ウォーターハンマー」の影響が直接出ることがありますので、固定してください。フレキ管の場合は給水抵抗を少なくするよう、Rを大きくするなど曲げ方を工夫してください。

停電後の対応について

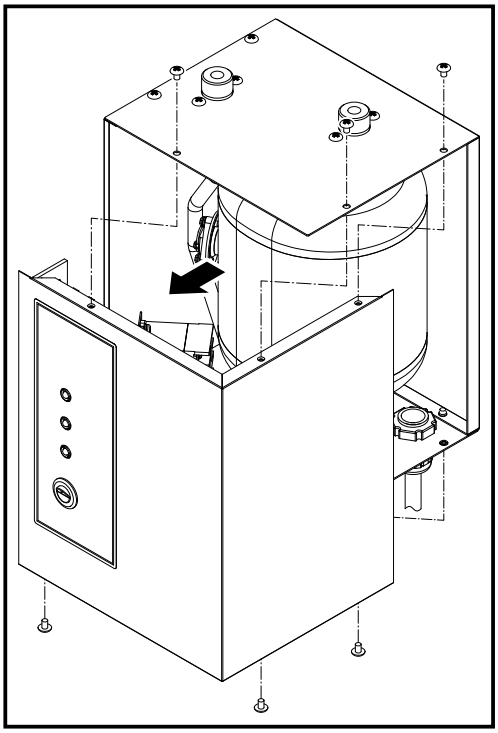
停電後は、停電が起こったときの運転スイッチの状態で復帰します。

前面・右側面カバーの取り外し方法　管理技術者の方

※この操作は本機内部を操作しますので販売店もしくはサービス店など、専門の技術者へご依頼ください。

①上下各３ヶ所（計６ヶ所）のねじを外し、前面・右側面カバーを取り外します。

※配線がつながっていますので無理に引っ張らないように注意してください。

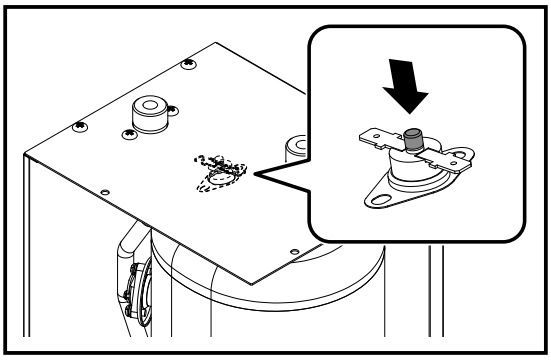


リセットの方法 管理技術者の方

※この操作は本機内部を操作しますので販売店もしくはサービス店など、専門の技術者へご依頼ください。

ES-3D（1）には「過昇温検出」（トラブル時などに発生するオーバーヒート防止）装置が装備されています。

何らかの理由で作動し運転が停止した場合には、運転スイッチをOFFにして電源プラグをコンセントから外した後、前面・右側面カバーを外し原因を取り除いたうえで、十分に温度が下がってから下図矢印部分の過昇温リセットボタンを押してください。



アフターサービス

消耗品について

下表に記載する部品は定期的な交換が必要な消耗部品です。劣化による動作不良や漏水を防止するため定期的に交換してください。交換（有償）はアフターサービス窓口までご連絡ください。

部品名		交換時期の目安★	交換いただく理由
弁・パッキン	逆止弁	設置、交換日より3～5年	長期間ご使用いただくことにより、経年劣化やスケール※による動作不良や漏水を起こす可能性があります。漏水が起きた場合大きな被害を与えることがありますので、交換することによりそれらを防止します。 ※水道水中のミネラル分が固着したもの。
	定流量弁		
	シリコンチューブ		
	Oリング・パッキン類		
電装部品	ヒーター		
	過昇温防止スイッチ	設置、交換日より5～7年	
	その他電装類		

★使用頻度、環境によっては交換が早まる場合があります。

補修用性能部品について

本製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後7年です。

メンテナンス契約について

弊社製品を永くお使いいただくためにはメンテナンス契約が有効です。詳しくは裏表紙に記載の弊社リニューアル課までご連絡ください。また、部品のご注文はアフターサービス窓口にて承っております。

修理をご依頼の際には

修理をご依頼されるときは、P.29の故障状況シートの必要事項にご記入いただき、お電話またはインターネット、FAXにてご連絡ください。（型番や製造番号等は本体貼り付けの保証票に印刷されていますので、故障状況シートへ転記してください。）

保証票　電気温水器

型番
貯湯量
満水質量
最高使用圧力
JET

電源　屋内用
周波数　50/60Hz
消費電力
PSE JET

保証期間　納入後3年間
製造番号

株式会社日本イトミック

アフターサービス

アフターサービス窓口

TEL 〈全国共通ナビダイヤル〉

一般電話・公衆電話・携帯電話の場合（市内通話料金でご利用可能です）

市内通話料でOK ナビダイヤル®

0570−011039

ご連絡の際には使用製品の型番・製造番号等の情報をご用意ください。

受付時間：24 時間 365 日（営業時間：8：45～17：45）

一般電話・公衆電話の場合は市内電話料金でご利用可能、携帯電話からも接続可能です。

【ナビダイヤルに関するご注意】

※ナビダイヤルは通話料のみでご利用できます。※電話窓口が混雑している場合、アナウンスが流れた後、話中の音が流れる場合があります。その場合には、時間をおいて再度おかけ直しください。※ＰＨＳ、ＩＰ電話からはご利用になれません。その場合、以下の窓口にお問い合わせください。

関東地区のお客様：03（3621）2161 関東地区以外のお客様：裏表紙記載の最寄りの営業所にお問い合わせください。

インターネット 〈インターネット修理受付窓口〉

https://www.itomic.co.jp/repair/

インターネットのフォームにて修理のご依頼を受け付け致します。入力内容のご確認および訪問日のご調整のため、お申込み頂いた翌営業日に担当者よりご連絡を差し上げます。

FAX 〈FAX 修理受付窓口〉 **03-3621-2163**

FAX で修理のご依頼を受け付け致します。以下の故障状況シートに記載の上、最寄りの営業所へお送りください。
（裏表紙に記載）

故障状況シート			
貴　社　名		ご担当者名	
ご　住　所			
T　E　L		F　A　X	
製品型番	ES-3D（1）		
電源、電力		製造番号	
設置場所		保証期限	

状　態

【無料修理規定】

本規定は、保証票に記載された製品につき、納入から3年の間に故障が発生した場合、下記記載内容に基づいて無料修理を行うことをお約束するものです。保証票に記載された製造番号をご提示の上、アフターサービス窓口までご依頼ください。

1. 取扱説明書・製品本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で、保証期間内に故障が発生した場合には無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、アフターサービス窓口にご依頼の上、修理に際して保証票に記載された製造番号をご提示ください。なお、遠隔地（離島および離島に準ずる遠隔地）への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は、事前にアフターサービス窓口にご相談ください。
4. 補償範囲は機能部とその付属品のみで、配管類は含みません。
5. 保証期間内でも次の場合は保証の対象とならず、有料修理となります。
   （１）お客様が取扱説明書・本体貼付ラベル等に記載された手順・注意を守らなかったことによる不具合や、部品・タンク内の清掃など日常のお手入れを行わなかったことによる不具合※1
   （２）Oリング・パッキン類の摩耗・劣化による不具合や、電池の消耗による不具合
   （３）工事要領に指示する方法に基づかない施工や工事設計による不具合※2
   （４）輸送・搬入・移動の際の落下・転倒・接触等による不具合
   （５）専門業者以外による移動・分解・修理・改造などによる不具合
   （６）指定規格以外の電気（電圧・周波数など）の使用や電力契約の間違いによる不具合
   （７）温泉水・井戸水など水道水以外の水を給水したことによる不具合
   （８）設備側の排水不良等による冠水により生じた不具合
   （９）電気・給水の供給トラブル等による不具合
   （10）配管の錆・砂・ゴミ等異物の流入による不具合
   （11）建築躯体の変化などに起因する不具合や、塗装の色あせなどの経年変化またはご使用に伴う摩耗等による外観上の不具合
   （12）火災、爆発等の事故、地震・津波・噴火・風水害・雷などの天災や地変、煤煙、降灰、酸性雨、凍結、海岸付近や温泉地等の地域における腐食性の空気環境、ほこり、異常電圧、異常電磁波、ねずみ・鳥・昆虫などの動物の行為、または戦争・暴動など破壊行為による不具合
   （13）保証票の提示が無い場合
6. 無料修理により交換された部品や製品は（株）日本イトミックの所有となります。
7. 製品の保証は日本国内におけるご使用の場合のみ有効です。

※1：日常のお手入れとはお客様ご自身で行えるもののほかに、設備業者や管理技術者に依頼が必要なものがございます。製品や部品によってお手入れ方法や時期が大きく異なりますので、取扱説明書やラベル等を必ずご確認いただくとともに、不明点はアフターサービス窓口にご相談ください。

※2：製品によって施工方法や注意事項が大きく異なりますので、施工時には工事要領を必ずご確認いただくとともに、不明点はアフターサービス窓口にご相談ください。

■お客様へ

1. 製品をお受け取りになる際は、製造番号が記載されている保証票が貼り付けられていることを確認してください。
2. 保証票の再発行はいたしません。
3. 機器が正しく運転しない場合や不調な場合は、修理ご依頼の前に「こんなときは」の項をご覧ください。
4. 無料修理期間経過後の故障・修理等につきましては、「アフターサービス」の項をご覧いただくか、アフターサービス窓口までお問い合わせください。
5. 保証票によって、保証票を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

株式会社日本イトミック

本社・営業本部 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：03（3621）2121（代）**
FAX：03（3621）2130
〒131-0045　東京都墨田区押上 1-1-2（東京スカイツリーイーストタワー 24F）
ホームページ　https://www.itomic.co.jp/

《修理に関するお問い合わせ》

ご連絡の際には使用製品の型番・製造番号等の情報をご用意ください。

一般電話・公衆電話・携帯電話の場合（市内通話料金でご利用可能です）

市内通話料でOK ナビダイヤル®

0570−011039

【ナビダイヤルに関するご注意】

※ナビダイヤルは通話料のみでご利用できます。
※電話窓口が混雑している場合、アナウンスが流れた後、話中の音が流れる場合があります。その場合には、時間をおいて再度おかけ直しください。
※ＰＨＳ、ＩＰ電話からはご利用になれません。関東地区のお客様は以下の窓口、その他の地域のお客様は最寄りの営業所まで直接お問い合わせください。

関東地区お問い合わせ ・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：03（3621）2161**
FAX：03（3621）2163

《保守契約に関するご相談》

弊社製品を永くお使いいただくためにはメンテナンス契約が有効です。詳しくは下記の弊社リニューアル課までご連絡ください。
また、部品のご注文はアフターサービス窓口で承っています。

リニューアル課 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：03（3621）2760**
FAX：03（3621）2160

《担当エリアと営業所》

北海道地区 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：011（615）6681**
北海道営業所 **FAX：011（615）7004**
〒063-0801　北海道札幌市西区二十四軒 1 条 5-1-10（ラポール 24 軒 2 号館）
担当エリア：北海道地区全域

東北地区 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：022（357）0848**
東北営業所 **FAX：022（357）0847**
〒983-0014　宮城県仙台市宮城野区高砂 2-8-21
担当エリア：青森県／岩手県／秋田県／山形県／宮城県／福島県

関東・新潟・山梨・静岡地区 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：03（3621）2121**
（株）日本イトミック　本社 **FAX：03（3621）2130**
〒131-0045　東京都墨田区押上 1-1-2（東京スカイツリーイーストタワー 24F）
担当エリア：東京都／千葉県／埼玉県／茨城県／栃木県／群馬県／神奈川県／山梨県／新潟県／静岡県

中部・北陸地区 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：052（222）2561**
中部営業所 **FAX：052（222）2559**
〒460-0002　愛知県名古屋市中区丸の内 1-4-12（アレックスビル 3F）
担当エリア：富山県／石川県／福井県／岐阜県／愛知県／三重県／長野県

近畿地区 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：06（7177）4949**
関西営業所 **FAX：06（7177）4948**
〒541-0056　大阪府大阪市中央区久太郎町 3-1-11 VORT 御堂筋本町Ⅱ 7F
担当エリア：大阪府／京都府／滋賀県／和歌山県／奈良県／兵庫県

中国・四国地区 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：082（240）1361**
中国営業所 **FAX：082（240）1363**
〒730-0051　広島県広島市中区大手町 2-3-9（大手町中村ビル 2F）
担当エリア：鳥取県／島根県／岡山県／広島県／山口県／香川県／徳島県／愛媛県／高知県

九州・沖縄地区 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：092（481）3911**
九州営業所 **FAX：092（481）3930**
〒812-0007　福岡県福岡市博多区東比恵 3-28-5
担当エリア：福岡県／佐賀県／長崎県／大分県／熊本県／宮崎県／鹿児島県／沖縄県

※本書に記載の内容は、製品の改良や仕様の変更などにより予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。